

私物のスマホを利用した LINE WORKSの導入のコツとは？

ver.20250604

LINE WORKSを導入したい、でもスマートフォンは支給できない...

会社から社員にスマートフォンやパソコンを支給していない場合、社員の私物のスマートフォンでLINE WORKSを使ってもらうことが、選択肢になると思います。

社員の私物のスマートフォンを利用すれば、会社側のコストや管理負担費用が少なく済み、使い慣れたスマートフォンを利用できるなど、多くのメリットがあります。

一方で、セキュリティや私物を業務に利用することによるリスクの観点からどのように運用するべきか悩まれる管理者の方は多くいらっしゃいます。また、従業員・メンバーの皆さまに私物スマートフォンの業務利用について理解してもらう必要もあります。

この資料では、私物のスマートフォンを利用するメリットとデメリットを理解し、私物のスマートフォンを利用してLINE WORKSの導入を進める際のポイントをご紹介します。

検討を進める上で、参考にしてみてください。



LINE WORKS

私物のスマートフォンを利用するメリット

社員のメリット

- 使い慣れた私物のスマートフォンを使えるので**新たに使い方を覚える必要がない**
- 業務用と私物の両方を持ち歩かなくて済み、**紛失のリスクを軽減できる**
- 私物のスマートフォンは常時携帯しているなので、**すぐに対応ができる**

会社のメリット

- 社員の私物を使うため**端末代金や通信費がかからない**（会社が一定の料金を負担するケースもあり）
- 貸与時や機種変更時における**トレーニングが不要**
- スマートフォンの管理や故障対応などの管理部門における業務が不要
- 社員が常時携帯しているので、**緊急時の連絡手段として利用できる**
- 端末支給の有無に関わらず、LINE WORKSなどのツールを**導入できる範囲が広がる**

私物のスマートフォンを利用するデメリット

社員のデメリット

- 業務上発生した通信費を自己負担しなければいけない場合がある
- いつでもどこでも仕事ができるため、労働時間が長くなったり不規則になる可能性がある

会社のデメリット

- 会社で指定したアプリなどの利用を強制できない
- 労働時間が長くなり、労働法上の問題が発生する可能性がある
- 社員の**プライベートデータと業務用データが混在**してしまう
- 退職する際に、会社の**営業機密や社内データを端末に入れまま**退職社員に持っていかれてしまう可能性がある
- 紛失・盗難などにより個人情報情報が漏えいした場合に、会社の責任が問われる可能性がある

私物スマートフォンの利用で考慮すべきポイント

POINT1 社員をどうやって説得するか

POINT2 通信費の負担をどうするか

POINT3 どのように労務管理を実施するか

POINT4 セキュリティ対策をどうするか

私物スマートフォンの利用で考慮すべきポイント

POINT1 社員をどうやって説得するか

POINT2 通信費の負担をどうするか

POINT3 どのように労務管理を実施するか

POINT4 セキュリティ対策をどうするか

POINT1：社員をどうやって説得するか

Q1 私物のスマートフォンを使いたくないという社員がいる場合、どのように進めるのが良いか？

まずは社員の方に私物のスマートフォンを利用する場合のメリットを説明しましょう。

メリットとしては、次のようなことが挙げられます。

- 使い慣れた私物のスマートフォンを使えるので使い方を覚える必要がない
- 業務用と私物の両方を持ち歩かなくて済み、紛失のリスクを軽減できる
- 私物のスマートフォンは常時携帯しているので、すぐに対応ができる



次のページ以降を参考にして、私物のスマートフォンを利用するデメリットへの対策を、一緒に伝えることも重要です。

それでも納得してくれないメンバーがいる場合は・・・

メリットを説明しても納得してくれないメンバーがいる場合に、私物スマートフォンの利用を強制するのは効果的ではありません。まずは既存の連絡手段と、LINE WORKSの両方を使いながら徐々にLINE WORKSに移行させていくのがおすすめです。社内でLINE WORKSの利用に積極的な社員から連絡手段として使い始め、LINE WORKS利用の良さを伝えてもらうのもポイントです。その際に、既存の連絡手段でも問題はないけれど、LINE WORKSを使うと情報が早く届き、追加の情報が手に入るなどのメリットを伝えることができれば、興味を持ってもらいやすくなります。

私物スマートフォンの利用で考慮すべきポイント

POINT1 社員をどうやって説得するか

POINT2 通信費の負担をどうするか

POINT3 どのように労務管理を実施するか

POINT4 セキュリティ対策をどうするか

POINT2：通信費の負担をどうするか

Q2 業務によって発生したパケット通信費用の負担はどうすべきか？

オフィスや事務所にWi-Fiを整備する

社内でWi-Fiを提供し個人の端末からの接続を許可することで、通信費の個人負担を減らすことができます。外出がそれほど多くなく、店舗や営業所、事務所など、特定の場所で使うことが多い場合におすすめです。

一定額を経費として会社が負担する

(例) 通信費として月に3,000円補助を支給。(1GB=1,000円で、2GB分の利用+電話料金1,000円分を想定)

利用パケットを抑えるための対処法としては以下の方法があります。

- モバイルから画像ファイルをアップロードする際に、品質をデフォルトの「オリジナル」から「標準」へ変更する <https://help.worksmobile.com/ja/use-guides/message/settings/general/message-setting/set-photo-file/>
- 音声通話とビデオ通話の利用データ量は大きいので利用頻度やシーンに注意する

私物スマートフォンの利用で考慮すべきポイント

POINT1 社員をどうやって説得するか

POINT2 通信費の負担をどうするか

POINT3 どのように労務管理を実施するか

POINT4 セキュリティ対策をどうするか

POINT3 : どのように労務管理を実施するか

Q3 仕事とプライベートの区別がつけられず、労働時間が長時間化しないか心配

LINE WORKSを本格的に利用開始する前に、簡単に使い方のルールを決めておきましょう。

業務時間外や休日も仕事の連絡が気になってしまうのではないかと懸念される方は多くいらっしゃいます。

仕事とプライベートの区別ができるように以下のような簡単なルールを決めるのがおすすめです。

使い方のルール（例）

- 業務時間外や休日は通知をオフにしてよい
- 業務時間外や休日は既読をつけたり、返信する必要はない

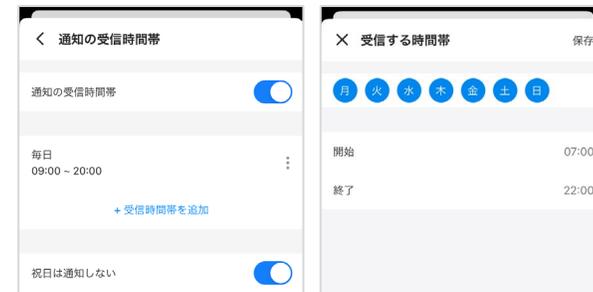


業務時間外や休日には通知の一時停止や、通知の受信時間帯設定を活用しましょう

- ワンタッチで通知を一時停止
- 通知の受信時間帯を設定（例：毎日 9:00~20:00）

詳しい設定方法はこちらでご確認ください

<https://help.worksmobile.com/ja/use-guides/settings/notification/snooze/>



私物スマートフォンの利用で考慮すべきポイント

POINT1 社員をどうやって説得するか

POINT2 通信費の負担をどうするか

POINT3 どのように労務管理を実施するか

POINT4 セキュリティ対策をどうするか

POINT4 : セキュリティ対策をどうするか

Q4 社員が私物スマートフォンを紛失/盗難にあった場合の、具体的な対処法は？

紛失したスマートフォンから強制的にログアウトをさせることができます。さらに再ログインを防ぐためにパスワードを変更することも可能です。この場合、ほかの端末を使ってLINE WORKSの利用を継続することができます。強制ログアウトとパスワードの変更は、別の端末やパソコンからログインすることで、メンバー自身で行えます。あるいは、管理者へ報告し、管理者画面から実施することも可能です。管理者が実施する場合には、アカウントを一時的に全て利用できないように設定することも可能です。

メンバーが設定する方法：<https://help.worksmobile.com/jp/topic/common/account/check-access-log-of-my-account/>

管理者画面で設定する方法：<https://help.worksmobile.com/ja/admin-guides/manage-members/members/members-information/>



POINT4 : セキュリティ対策をどうするか

Q5 社員が退職した際はどうすればいい？

退職した社員のアカウントを、管理者画面から削除します。

退職者はログイン中の全ての端末から強制的にログアウトされ、再度アクセスすることができなくなります。

LINE WORKSはクラウドサービスなので、端末にはデータが残りません。そのため退職者が会社の機密情報を持ち出しすることも防げます。

また、アカウントを削除しても退職者が書いたトークやノート、作成したファイルはLINE WORKSから消えることはないの
で、引き継ぎの情報を残しておくことも可能です。

メンバー削除の方法：<https://help.worksmobile.com/ja/admin-guides/manage-members/members/delete-members/>



POINT4 : セキュリティ対策をどうするか

Q6

セキュリティのトラブル発生時に、個人端末の提出を求めるのは、プライバシーの問題があるが、どう対処すべき？

LINE WORKSには監査機能により、ログインやトークの履歴など、全ユーザーのサービス利用履歴がログとして保存されています。セキュリティトラブルが発生した際には、個人端末を預かることなく管理者画面からログを確認することができます。

*フリープランの場合は管理機能に制限があるため、ログの保存期間は2週間です。

また、フリープランはログをデータでダウンロードすることはできません。



セキュリティポリシーに合わせて細かな対策をしたい場合は有償プランをご検討ください

有償プランでできるセキュリティ対策

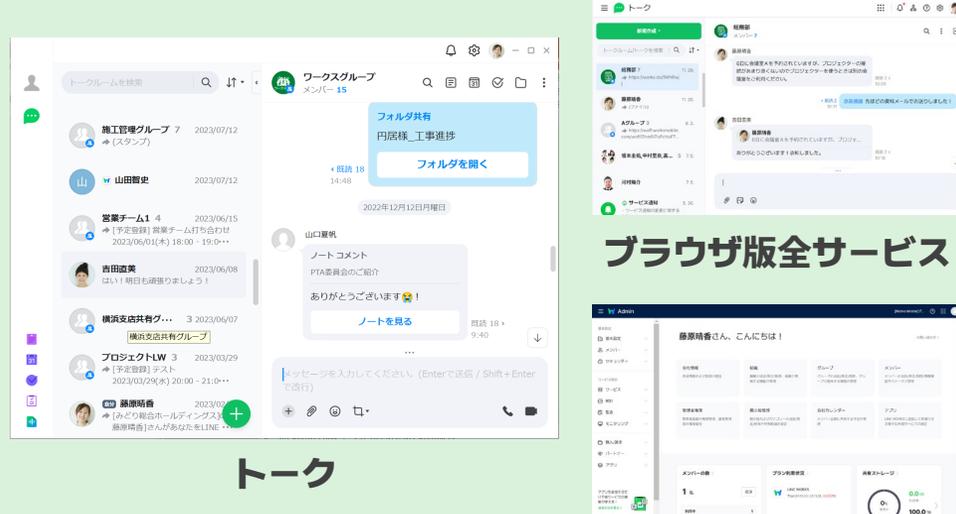
主なリスクポイント	LINE WORKS セキュリティ・管理機能
スマートフォンの紛失・盗難	<ul style="list-style-type: none">・ アプリケーションのパスコード強制 (一定回数パスコードを間違えた場合には強制ログアウト)・ 遠隔からのアプリ内データの削除
スマートフォンへのデータ保存	<ul style="list-style-type: none">・ 送信可能なファイル形式、ファイルサイズの制限・ ファイルのダウンロード・転送制限・ トーク内容のコピー禁止
端末紛失時の残留データの把握	<ul style="list-style-type: none">・ モバイルアプリから参照可能なトーク日数の制限
特定の雇用形態やメンバーへの閲覧制限	<ul style="list-style-type: none">・ 閲覧制限機能を使うことで連絡可否を管理
個人デバイスからの無断アクセス	<ul style="list-style-type: none">・ IP アドレス制限 (モバイル版アプリを除く)・ 海外IPからのログイン制限・ モバイルを利用できるユーザーの制限
社外へのファイル共有	<ul style="list-style-type: none">・ 受信相手のみに限定したワンタイムパスワードによる安全なファイル共有システム
ネットワークセキュリティへの配慮	<ul style="list-style-type: none">・ デスクトップアプリの Web プロキシ対応
会社支給スマートフォンのみでのアクセス	<ul style="list-style-type: none">・ 外部MDMソリューションとの連携にて制御が可能

付 録

LINE WORKSが利用できる環境

LINE WORKSはスマートフォンだけでなく、タブレットやパソコンでも利用が可能です。

パソコンではアプリとブラウザで利用できる機能が異なりますので、活用シーンに合わせた環境を用意しましょう。

	スマートフォン/タブレット	パソコン
アプリ	<ul style="list-style-type: none">モバイル版アプリ<ul style="list-style-type: none">全サービス管理者画面 (簡易版)	<ul style="list-style-type: none">パソコン版アプリ<ul style="list-style-type: none">トークのみ (音声/ビデオ通話可)
ブラウザ	<ul style="list-style-type: none">非対応	<ul style="list-style-type: none">全サービス管理者画面 (フル機能版)
画面	 <p>全サービス</p> <p>管理者画面</p>	 <p>トーク</p> <p>ブラウザ版全サービス</p> <p>ブラウザ版管理者画面</p>

LINE WORKS の利用推奨環境

LINE WORKS（ブラウザ版/PC版/モバイル版/Driveエクスプローラー）を利用するための推奨環境は下記よりご確認ください

■LINE WORKS ヘルプセンター システム要件

<https://help.worksmobile.com/ja/use-guides/settings/supported-environment/>

LINE WORKS